

取扱説明書

ZETA フロントフォークトップキャップ イニシャルアジャスタータイプ SEROW250

この度は、ZETA商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みになって、取付作業を行って下さい。

注意事項

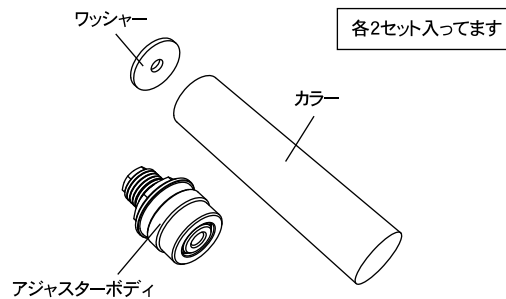
取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となります。
作業内容に不安がある場合は、弊社もしくはサスペンションプロショップにご相談、ご依頼ください。

サスペンションの車体からの取り外し・取り付け、本体の分解・組立て作業は各車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照し作業を行って下さい。

異常が認められた場合は作業を中断し、弊社までお問合せ下さい。

製品に加工、改造は行わないで下さい。事故や破損の原因となります。

キット内容

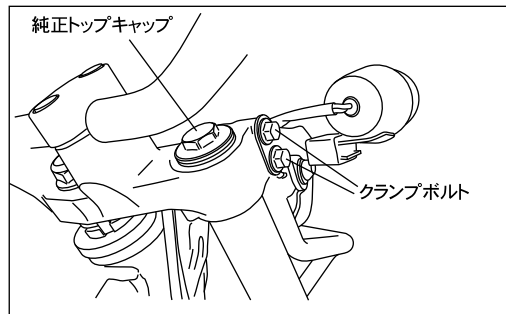


取付方法

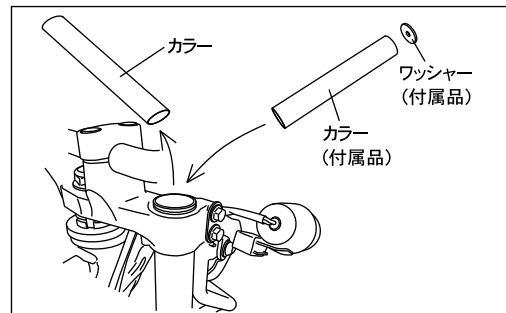
作業手順

※車体をリフトスタンド等で持ち上げ、確実に前輪が浮いた状態で作業してください。

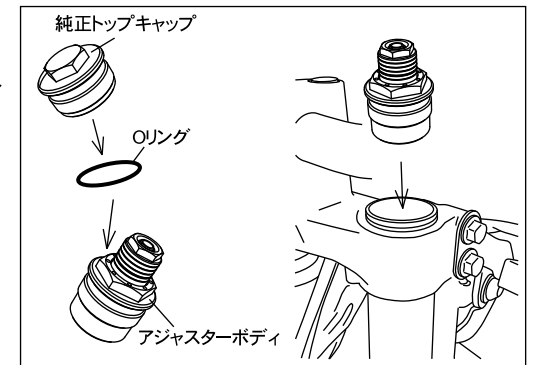
- 1) トップブリッジのクランプボルトを緩めます。
- 2) 純正トップキャップを緩め、取り外します。



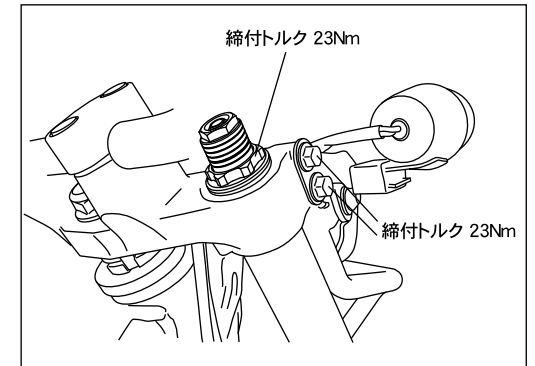
- 3) フォークの中からカラーを抜き取ります。
※カラーの下にあるワッシャーは取り出さないでください。
- 4) フォークの中に、ZETAトップキャップに付属されているカラーとワッシャーを順番に入れます。



- 5) 純正トップキャップからOリングを外し、アジャスターボディに取り付けます。
- 6) Oリングにフォークオイルを塗布し、アジャスターボディをインナーチューブに取り付けます。



- 7) アジャスターボディを締め付けます。
＜締付トルク 23Nm＞
- 8) トップブリッジのクランプボルトを締め付けます。
＜締付トルク 23Nm＞



ーイニシャルアジャスター調整方法ー

17mmレンチを使用し、アジャスターロッドを回転させることでスプリングに掛かるプリロード量を調整することができます。アジャスターロッドに刻まれている二本線（下から二番目）とキャップの上端面が重なる位置に合わせると、スタンダードのプリロード量になります。

この位置から反時計方向に回転させることで、プリロード量を-5mmまで減らすことができます。フロントフォークの動き始める荷重が下がる為、フロントフォークの動作が柔らかく感じます。

また、スタンダードの位置から時計方向に締めこむことで、プリロード量を+10mmまで増やすことができます。この場合はフロントフォークの動きが硬く感じます。

アジャスターロッドに刻まれている線の間隔は2.5mmです。お好みに合わせて調整してください。

ーエアブリード調整方法ー

長時間走行後やオフロード走行などサスペンションを酷使した後はフォーク内部のエアが熱で膨張し、サスペンションの動きを悪くします。

アジャスターボディ上部にあるブリードボタンを押すことで、簡単に余分なエアを逃がし、フォーク内部の圧力を適正に調整することができます。

※調整時はスタンド等で車体を持ち上げ、必ずフロントフォークが伸びきっている状態で行ってください。

ーオイル漏れが発生した場合ー

走行後時間が経過し、フロントフォークが冷えている状態でブリードボタンを押すと空気を吐き出さず、逆に吸い込んでしまうことがあります。この際にボタン周辺が汚れているとゴミと一緒に吸い込んでしまいます。

ゴミを吸い込んでしまうとブリードボタンのパッキン部にゴミが挟まり、密閉することができず走行時にオイルが漏れてきてしまうことがあります。

もしオイル漏れが発生した場合は一度トップキャップを取り外し、ブリードボタン周辺をエアブローしゴミを摘出して下さい。